



KANDAI



STYLE

特集

世界で活躍する先輩特集

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】
“ライバル校”について考えよう

【VIVA!学び場】法学部
「専門演習1」
笹本幸祐 教授

【働く関大人】建設コンサルタント業界／営業補助
中央復建コンサルタンツ株式会社 吉満奏希さん

【なるほど・ザ・関大!】
総合図書館 ラーニング・コモンズを活用しよう!

【今月のシンクさんアクトくん 関大生の友の輪】
経済学部3年次生 左海太暉さん

ラオスで「国際協力」しています。

澤田圭佑さん



総合情報学部
2009年卒業

JICA
(独立行政法人
国際協力機構)

Q.入職のきっかけと、今の仕事の内容や魅力を教えてください。

在学中に2年間休学して青年海外協力隊に入り、バングラデシュでバスケットボールのコーチをして国際協力に興味を持ちました。今は日本の政府開発援助 (ODA) を運営して、国連や世界銀行などと協議しています。ベトナム戦争の負の遺産で毎年数十人の犠牲者が出ている不発弾問題にも取り組み、「何のために働いているのか」ということを胸を張って言えますし、やりがいを感じています。

Q.仕事での苦労や海外で得たことは何ですか？

もっと現場に入りたいのですが、実際は大量の事務仕事に時間をとられています。自身に合った働き方を探すことが大切だと気付きました。また、発展途上国では辛抱強く進めていく根気が必要で、自身の力で軌道修正できる力はとても大事だと思います。

Q.ラオスならではの事情などを教えてください。

1年4カ月間ラオスに住んでいますが、ラオス人はめったに怒りません。怒りが最高レベルの侮辱に値するからだそうです。いつミスをしたも「ボーペンニャー (気にしないで)」。この一言に何度も救われました。

Q.今後の目標は？

JICAの仕事は6月に終え、秋からフランス政府奨学生としてフランスに留学することになりました。MBAは取得していますが、より専門的な経営管理手法を学びます。その後は、国連や国際NGO (非政府組織) などの専門官として、難民キャンプや紛争に苦しむ現場で働きたいと思っています。



ラオス不発弾除去機関スタッフ (右) と

Q.気分転換の方法は？

週に1~2回行く、多国籍の人たちとのバスケットボールと、妻との時間を過ごすことです。

Q.後輩へのメッセージを。

人生は一度きり。環境を無理やりに変えてでも、さまざまな刺激を得ながら成長してください。



職場の様子

世界で活躍する先輩特集

世界のさまざまな国に活躍の場を求めている関大OB・OGたち。民間企業で働く人は協力機構 (JICA) の職員など、多くの関大生が日本を飛び出し活躍しています。夏休みを参考に、自分の将来を思い描

場を広げている関大OB・OGたち。民間企業で働く人は協力機構 (JICA) の職員など、多くの関大生が日本を飛び出し活躍しています。夏休みを参考に、自分の将来を思い描

Q.入職のきっかけと、今の仕事の内容や魅力を教えてください。

大学時代に訪れたカンボジアで日本語教師という職業があることを知ったのがきっかけです。いろいろな国の日本語学校の採用試験を受けましたが、親日的でご飯がおいしいという評判や、3.11の震災時の恩返しも兼ねて、台湾で日本語を教える学校を選びました。授業は全て日本語で、レベルは「あ・い・う・え・お」の50音から、大学の日本語学科合格を目標にする学生まで、さまざまです。

Q.仕事での苦労や海外で得たことは何ですか？

比較的ストレートな物言いをする中国語と違って、日本語は回りくどかったり、はっきり言い切らずに自分が言いたいことを相手に読み取ってもらおうとするあいまいな言い方が多いので、背後の気持ちを教えるのが難しいです。でも学習すればするほど、どんどん話せるようになったり、検定に合格する学生を見ると、この仕事をしてよかったなと思います。

Q.台湾ならではの事情などを教えてください。

外食文化の台湾では、授業中でも飲み物や食べ物の出前を取って皆で食べながら授業することもあります。助け合いの精神に富み、断水が始まるという時には、授業後の自分の机にバケツ2杯の飲料水が置かれていました。学生が買ってくれたのです。

Q.今後の目標は？

中国語がなかなか難しくして…まずはその勉強に集中します。

Q.気分転換の方法は？

とにかく食べます。夜市 (屋台の町) が街中にあるので、授業後に友達と夜食や台湾デザートを食べることが多いです。

Q.後輩へのメッセージを。

本当に短い大学生活、後悔しないように、やりたいことはやりきってください！



授業の様子



学生の大学受験対策 (面接) の様子

藤井翔子さん



政策創造学部
2013年卒業

徳川日語 中壢校
(日本語学校講師)

台湾で「日本語教師」しています。

アメリカ (カリフォルニア) で情報収集・調査しています。

Q.入社のきっかけと、今の仕事の内容や魅力を教えてください。

海外研修制度やグローバルに活躍できるチャンスが多かったからです。現在は、シリコンバレーで最新のITトレンドに関する情報の収集・調査をしています。AppleやGoogle、Facebookなど世界的に有名なIT企業やベンチャー企業が生み出す画期的な技術を、間近で体感できるのが魅力です。

Q.仕事での苦労や海外で得たことは何ですか？

イベント現場で発言者の要点を聞き漏らさないよう、毎回集中しないといけないので必死です。身に付いたのは「自立して生きていく力」。海外では未経験のことでも、自分で調べて解決していかなければならず、何事も乗り越える強さを持ってました。

Q.米国ならではの事情などを教えてください。

こちらではイベントを大切にします。誕生日や祝日などには、オフィスにみんなが集まり、ケーキを囲んでパーティーを開き、とてもアットホームな雰囲気です。また自宅からリモートで仕事をする「ホームオフィス」という働き方もあります。

Q.今後の目標は？

学生時代のTOEIC対策や英字新聞の購読が今に生かされているので、これからグローバルなビジネスに携われるように、英語力やITスキルの向上に努めます。

Q.気分転換の方法は？

カフェ巡りが大好きで、週末は近所のお気に入りのカフェに行ったり、サンフランシスコまで車で1時間ほどドライブして新たな店を開拓しています。

Q.後輩へのメッセージを。

貴重な4年間。遊びもバイトもゼミも勉強も全てに全力を尽くし、卒業する瞬間に「やりきった」と思える大学生活を過ごしてください。



パネルディスカッションの様子



展示会の様子

鈴木萌さん



法学部
2012年卒業

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ
株式会社

タイで工作機械を製造・販売しています。

Q.入社のきっかけと、今の仕事の内容や魅力を教えてください。

海外に支社を持ち、積極的に大きな仕事を任せてもらえる社風に魅力を感じたからです。この会社は工作機械を販売する商社です。私が責任者を務めるタイでは、工作機械を活用した自動車部品の製造も行っており、お客さまのニーズ以上のサービスを提供できたときには、最高にやりがいを感じます。

Q.仕事での苦労や海外で得たことは何ですか？

工作機械の活用方法は無限にあり、お客さまそれぞれに合った活用方法の提案がとても難しいです。タイ語で技術指導するので細かい意思疎通が大変ですが、その分、相手と分かり合えた瞬間は、何とも言えない充実感を得ます。

Q.タイならではの事情などを教えてください。

タイでは、家族をととても大切にします。家族との時間を長く過ごそうとするため、残業は極力したくない社員が多く、納期が差し迫っていても定時になければ仕事を切り上げてしまいます。責任者としての悩みです…。

Q.今後の目標は？

高い精度が求められる日本の仕事をタイで受注できるようにすることです。そのための目標は①タイ語の習得②会計知識の習得③最新鋭のモノづくり技術の習得——です。

Q.気分転換の方法は？

音楽が大好きなので、ライブでストレスを発散しています。タイでは、生バンドを聞きながらお酒が飲めるお店が多いので、いつかそのステージに立てたらなあと思っています。

Q.後輩へのメッセージを。

少しでも海外に興味があるのでしたら、実際に飛び込んでみてください。商社に興味を持つ学生の皆さん、私と一緒に世界に飛び出してみませんか？



職場の様子

島田翔太さん



商学部
2008年度卒業

株式会社J.H.M

みんなで一緒に考えよう。

関大誌上教室 “ライバル校”について考えよう

慶應には早稲田、立命館には同志社、そしてわが関西大学には関西学院大学という長年の良きライバル校があります。中でも毎年実施される総合関関戦は熱戦を繰り広げ、お互いを高める恒例行事。今回の誌上教室では、総合関関戦の開催を記念して関大生にとってのライバル校について、意識調査を実施しました。

【アンケート期間:3月16日～4月7日 対象:関大生 回答者:304人 (男子194人 女子110人) (体育会学生145人 体育会学生を除く関大生159人)】

関大生(体育会学生を除く)

1位	関西学院大学	106人
2位	近畿大学	21人
3位	立命館大学	15人

4位	同志社大学	7人
5位	大阪大学	3人

トップ5

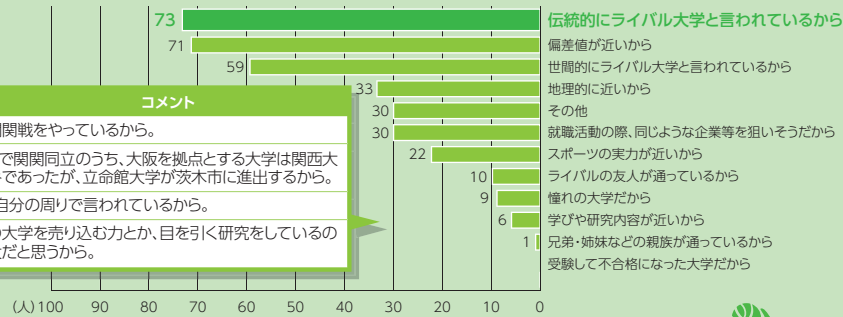
Q あなたが考える関西大学のライバル大学はどこですか？1つ挙げてください。

Q どうしてその大学をライバルと思うのですか？理由を教えてください。(複数回答可)

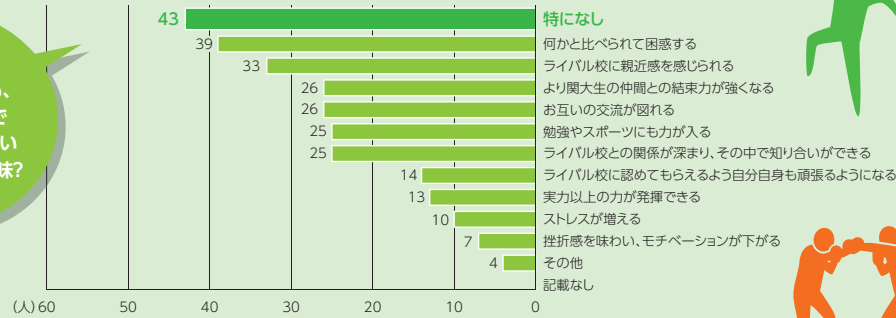
Q ライバル校があることで、自分自身が変わったことなど、思うことは何ですか？(複数回答可)

「偏差値が近いから」が2位という結果に

学部・学年	性別	ライバルと考える大学	コメント
文4	女子	関西学院大学	毎年関関戦をやっているから。
安全2	男子	立命館大学	これまで関関同立のうち、大阪を拠点とする大学は関西大学のみであったが、立命館大学が淡木市に進出するから。
化生2	女子	近畿大学	最近、自分の周りで言われているから。
心理学研究科M1	女子	近畿大学	自分の大学を売り込む力とか、目を引く研究をしているのは近大だと思うから。



ライバル校を意識しながら、スポーツなどで直接対決できない関大生は困惑気味?

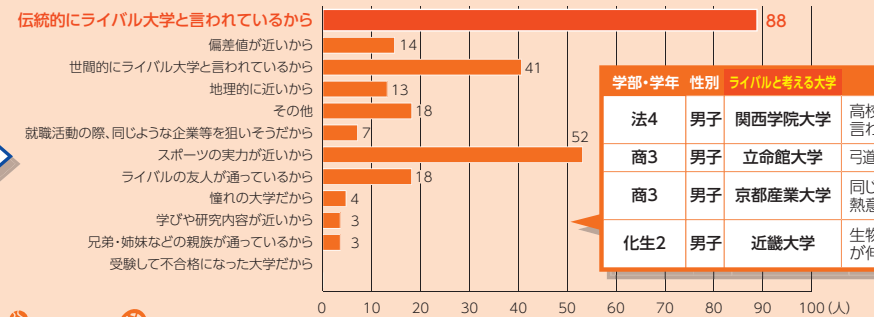


トップ4

1位	関西学院大学	101人
2位	大阪体育大学	9人
3位	同志社大学	5人

3位	中央大学	5人
4位	近畿大学	4人
4位	立命館大学	4人

「スポーツの実力が近いから」が2位という結果に



学部・学年	性別	ライバルと考える大学	コメント
法4	男子	関西学院大学	高校の頃から関学には負けてはいけな言われているから。DNA的にもライバル校。
商3	男子	立命館大学	弓道が日本一の大学で、関大を日本一にしたいから。
商3	男子	京都産業大学	同じスポーツ新聞編集局として、仲が良く、熱意なども似ているから。
化生2	男子	近畿大学	生物系に力を入れていて近年偏差値や人気伸びてきているから。

ライバル【関西学院大学】
関関戦という伝統的な対抗戦がある。負けられないというプレッシャーはかかるが部全体の結束が強まることを非常に感じる。(情4・男子)

ライバル【関西学院大学】
切磋琢磨できる人がいるという素晴らしい環境に感謝。(法4・男子)

ライバル【立命館大学】
ライバルであり目標であるため、試合の度に実力の差が分かるから、モチベーションが上がる。(シス理4・男子)

今年の総合関関戦
とどろき
テーマは「轟」

本戦は6月11日(木)～13日(土)
場所は関西学院大学
上ヶ原キャンパスです。

関西大学体育会と関西学院大学体育会との熱き戦い「総合関関戦」。5月29日(金)12時10分からは、関西大学千里山キャンパス悠久の庭で団結式、6月7日(日)11時からは阪急西宮ガーデンズで前夜祭、本戦は6月11日(木)～13日(土)に行われます。それら一切を運営する体育会本部の高橋城太郎本部長(法4・体育会野球部所属)と中西一季実行委員長(社3・体育会アイススケート部所属)に話を聞きました。

Q. 総合関関戦の見どころ、楽しみ方を教えてください。

中西 全ての体育会クラブが総当たりするのは、全国でも大変珍しい大会です。自分の部の勝利が大学の勝利に貢献できるというやりがいを感じながら、選手は試合をしています。その気合を見てもらいたいです。

高橋 これまで見たこともない競技を間近で観戦できることは、とても楽しいです。関関戦は周りの方に「感謝」の気持ちを伝える試合だと考えていますので、運営側として、一人でも多くの人に関心を持ってもらえるよう、広報活動に力を入れています。



中西さん

中西 今年は、総合関関戦を知らない一般学生向けのPVを作成し、それを学内で流すことで総合関関戦や体育会そのものについて知ってもらおうと考えています。

Q. 今年の総合関関戦のテーマは「轟」ですが、どういう意味が込められていますか？

中西 「轟」という字は一つでも車という意味がありますが、3つそろって別の意味が出てきます。同じように各クラブ、各部員がそれぞれ集まって一丸となって関関戦に臨もうという意思を込めました。後は字の通り関関戦を「とどろかす」という意味も込められています。

Q. 関関戦をあまり見たことのない関大生にアドバイスをお願いします。

高橋 今年はアウェーですので、観戦に行くのは大変だと思いますが、できれば実際に選手の活躍を生で観てほしいと思います。絶対に来て損はないですし、関大生として一体感を感じられると思います。スポーツをあまりしない人も、少しスポーツから離れてしまった人も、観戦することでスポーツを好きになってもらい、何かスポーツを始めようかなと思うきっかけになったら本当にうれしいです。体育会KAISERSとしてつながり団結し、全力で関西学院大学に勝利したいと思います！

中西・高橋 ぜひ皆さん、応援に来てください!!



高橋さん



OPINION OF PROFESSOR
社会学部 遠藤由美教授

人間は動物の中で一番「賢い」ですが、意外に自分自身のことはよく分かっていないところがあります。精一杯の走りです。これ以上は頑張れないと思っていても、誰かが追い付いてきて横並びになりそうなの時、俄然力が湧いてきてこれまで以上の速さで走ります。他者の存在が人を変え、これまでの「精一杯」を上回る力をどこからか引き出すわけです。今回の調査結果にもあ

るように、ライバルは敵ではありません。勉強であれ技であれ親近感を抱きながら真剣に競う「好敵手」であり、「今までの自分」を超えていく力を与えてくれる存在です。

同じ大学内でライバルを見つけ、切磋琢磨するも大事。しかし、大学内ではある意味似た者が多く、気が合う反面多様性や広がりには欠ける傾向が見られます。最近、自分の場面限定的な知識や技術に気付き変えていく上で、文脈を共有しない異質な他者との交流が重要であると指摘されています。体育会学生もそうでない学生も、時には自大学という枠を超えて、他大学の学生や他国からの留学生とライバル交流を始めてみてはいかがでしょうか。

次号のテーマは…

関大生による「地域活性化への取り組み」を調査する

夏を迎え、地域の祭りやイベントに参加する学生もいることでしょう。次号は、商店街の活性化や、地域住民と連携しその地域を盛り上げるために活動する学生を対象に、地域活性化への取り組みを徹底調査します。

6月号「関大誌上教室」アンケート
プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「ライバル校」について考えよう」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(6月1日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いします。

建設コンサルタント業界／
営業補助

中央復建コンサルタンツ
株式会社

吉満 奏希さん

大阪府立芦間高等学校出身
2014年 社会安全学部卒業



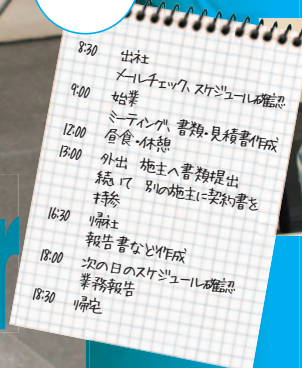
学生時代に知らなかったことを職場で学ぶ。
知識を吸収できる毎日を楽しんでいます。

道路や鉄道、空港、港湾、橋梁、ダムといったインフラを計画、設計、維持、保全を行うのが吉満奏希さんの働く建設コンサルタント業界の仕事です。吉満さんは現在、中央復建コンサルタンツ株式会社の業務推進本部に籍を置き、営業の補助として近畿・北陸地区の府県庁などの施主に提出するための書類や資料、見積書の作成と、それらの受け渡しで施主先まで直接出向くなどの業務を担当しています。

社会安全学部の1期生として、ゼミで公益事業や交通政策について学んだことから、公共事業に興味を持ち、今の会社に進みましたが、当初は土木関係の深い知識はありませんでした。入社して1年あまり、聞き慣れない言葉を耳にするたびに自ら調べたり、周囲の方にも質問するなど、日々、勉強しているのだとか。そして、専門用語など自分の中に新しい知識が蓄積されていくことに喜びを見出しているそうです。所属部署では一番若く、周囲は年齢もキャリアも上の方ばかり。プレッシャーもありますが、先輩方にアドバイスをもらえる今の環境は同時に非常に恵まれてもいます。その環境で吉満さんは、視野を広げ、行動力を養い、自立した営業になることを目指しているのです。

「就職活動は、自分では気付かない適職があるかもしれないので、柔軟な姿勢でさまざまな業界に目を向けてみるのもいいと思います」と、生き生きと働く吉満さんは笑顔でアドバイスをくれました。

ある1日の
スケジュール



手帳、筆記用具、会社から支給されたスマートフォンなど。

Sales Coordinator

VIVA!!

学び易



法学部

「専門演習1」

笹本幸祐 教授

保険取引に関するさまざまな紛争を分析・考察・検討する。

通年で、一つの裁判例を深く掘り下げ、検討することから問題を発見・解決する基礎能力を身に付けます。

現代社会での保険取引上のさまざまな紛争を例に、多角的な視点から分析・考察・検討をするというのが法学部・笹本幸祐教授の専門演習です。保険契約法についてより理解を深めるため、本ゼミで学生が取り上げる裁判例は一年に一つ。選び出した判例を掘り下げ、細かく検討する方法を学びます。

本ゼミは、本題の研究に入るまでの笹本教授のアプローチが実にユニーク。例えば「シチューとは何なのかを考える“シチューの定義”」に始まり「元カレ、元カノからのプレゼントはどうすべきか」、「大学入学を9月に変更することについての考察」などのテーマを学生たちに提示します。学生は各課題を突き詰めて考える経験で、論理的に物事を捉え、柔軟な思考力を伸ばし、客観性を持つデータなどに基づいて他者を説得するトレーニングをするのだとか。そうした段階的なアプローチを経て、改めて専門的な保険契約法の裁判例の研究へと移るのです。授業は毎回、いくつかの班に分かれての研究報告発表と討論の形式で進行。教授のアドバイスを受け、各班がそれぞれ、次までに修正を加えて調査・研究を進め、レポートを完成させます。

笹本教授は、学生の将来について、「必ずしも法律のエキスパートになることはない」、それよりも「社会人として、問題を発見し、解決できる人物になってほしい」と言います。問題が起こったときに、必要な資料を集め、調査し、正しく伝達する、つまり最善の策を講じることができる人物。それは会社や組織に依存することなく、どこでもたくましく生きていける、本当の意味での自立した人間です。「このゼミで、法律を学び、研究することから、社会に出るのに必要な力を培ってほしい」。自立した人間の育成、それこそが本ゼミの一番の目的なのです。



高見知穂さん(4年次生 取材時は3年次生)

もともと民法が好きなのですが、商法を選択したときにその関わりを知りたくなりました。法律だけでなくいろいろな事例を題材に考え方や伝え方を学べるので、本気で勉強をしたい人はメリハリを付けて頑張してほしいですね。



中野雄介さん(4年次生 取材時は3年次生)

保険法は将来必ず必要だし、このゼミは先輩の話や他大学との合同ゼミなどで知り興味を持ちました。先生は学生のレベルに合わせて要求内容も変えてもらえるので、油断せず、自立心を持って臨むべきだと思います。



法学部

笹本幸祐 教授

成績は問いませんが、人とのコミュニケーションを大切に、ちゃんと自己PRのできる人に来てほしい。ゼミに入るには3条件があって、社会常識を履歴書で、文書作成能力を志望理由書で、そして表現力と独創性は自己PRで判定します。PRのツールは自由なので、その創意工夫も楽しみです。



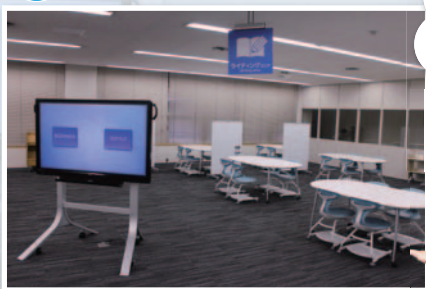
ラーニング・コモンズを活用しよう!

ITセンターのサテライトステーション、凜風館のコラボレーションコモンズに続き、今年4月には総合図書館にラーニング・コモンズがオープンしました。学習や課外活動など自由に利用できる関大の新たな学びのスペースを学生スタッフに紹介してもらいます。

ラーニング・コモンズ



ライティング・エリア



学生スタッフ 中谷水優さん(商3)

大学院生のTAからレポート・論文作成などのアカデミック・ライティングを中心とした文章指導が受けられます。



ラーニング・エリア



学生スタッフ 植田奈津希さん(社3)

机やホワイトボード、電子黒板があり、みんなで集まってディスカッションをするなど、さまざまなグループワークに活用できます。

グループワーク用の個室。ホワイトボードに映したPC画面をみんなで見ながら、ディスカッションができます。プレゼンテーションの練習にも最適です。



ワーキング・エリア



学生スタッフ 魏曉娜さん(外国語教育学研究科M2)



ワークショップ・エリア

マイクや大型スクリーンを完備。ゼミナール、ガイダンス、イベント等が行えるスタジオです。



学生スタッフ 能戸雄大さん(文学研究科M1)

[ラーニング・コモンズ 各エリア利用について]

エリア名	予約の可否	利用申し込み資格	申し込み方法
ライティング・エリア	要予約	学生	ライティング・ラボのTECsystemで予約してください。 ※ライティング指導が行われない時は、ラーニング・エリアとして利用できます。
ラーニング・エリア	予約不要	学生・教員	グループでの学習の場合、手続き不要。
ワーキング・エリア	一部要予約	学生・教員	「ワーキング・エリア利用申込依頼書」をコモンズ・カウンターに提出。
ワークショップ・エリア	要予約	教員のみ	メール添付で提出した「ワークショップ・エリア利用申請書」に対して、利用可否が返信されます。

※詳細は、関西大学図書館KOALA ラーニング・コモンズのウェブサイトをご覧ください。(http://opac.lib.kansai-u.ac.jp/)

困ったことや、ノートPCなどの貸し出しは、
私たちにご相談ください!!



コモンズ・カウンター

併せて活用しよう!

凜風館コラボレーションコモンズと、誠之館2号館サテライトステーション



凜風館コラボレーションコモンズ

千里山キャンパスの中心に位置する凜風館1階に、学生が集う学びの場として開設。正課・課外を問わず、主体的に学びに取り組む学生が「予約なし」で自由に使える場として開放されています。利用案内や備品の貸し出しを受け付けるコンシェルジュカウンターのほか、コラボレーションエリアやラーニングエリアなど、学生の「考慮」を促す7つのエリアがあります。



サテライト2

ホワイトボードやプロジェクター、ディスプレイを活用して発表練習などを実施でき、グループ学習に最適。予約なしで自由に使えます。また利用相談員が1名常駐しているので、何か困ったことがあっても相談できます。

経済学部3年次生

左海 太暉さん

勉強に、仕事に。全力投球で日々を過ごしています。



フロンティア株式会社

某大手通信事業会社の代理店中、
唯一の学生ベンチャー企業。

フロンティア株式会社は学生ネットワークを駆使して、数ある代理店の中でも優秀な実績を残しています。

今回は、左海さんからのご紹介で家庭教師事業と英会話事業を立ち上げ、経営する伊東遼太さん(社3)が登場。お楽しみに!

1年次生の頃、勉強だけに没頭することで上位1割に入るほどの成績を残しながら、左海太暉さんは、その生活に疑問を感じていました。「何かをしたい」。漠然と思う日々の後、留学体験がきっかけで挑戦する楽しさを知った左海さんは、学生ベンチャー企業のフロンティア株式会社で働きたいと強く思うようになりました。当時、募集をされていなかったにもかかわらず、すでに働いていた友人に紹介を依頼し、その熱意が伝わったのか無事採用されたのです。

仕事内容は移動体通信機器の営業。店舗販売ではなく完全紹介制の形を取り、独自のサービスをセールスポイントに顧客から顧客へと輪をつなげ、紹介を受ければ全国どこにでも訪問します。関西圏内だけにとどまらない営業活動は時間的な拘束も生じるため、日々「仕事」と「勉強」のメリハリを付けてスケジュール管理をすることで学業との両立を実現。

顧客に感謝されれば喜びを感じ、契約がうまくいかなければ泣きたくなる、仕事ではいろいろな経験をしますが、どれも全て自分の成長につながると感じているのだとか。そして、何より会社を通じて他大学の学生との交流も増え、人間関係の広がりを得たと言うのです。

左海さんの考え方や生き方までも変えたフロンティア株式会社では、3年次生の1月以降の営業活動が禁じられます。代わりに1月からはプレゼンテーション、ディベートや面接の練習などといった就職活動のサポートを会社側がしてくれるのだそうです。将来、外資系企業への就職を希望している左海さんは「3年次生の2月からカナダへの留学を予定しているので、その資金づくりを目標に営業活動が可能な今年いっぱい頑張って成果を上げたい」と話します。

職場の上司の言葉で印象に残っているのが「決断とは断つことを決めること。自分にできることを選択し、他のものは断つ」というもの。自分のやりたいことや目標を定めたら、余計なことに気を取られることなく、脇目も振らずに前進することが大事なのだというその言葉に応えるように、左海さんは「誰にでもできる仕事ではなく、自分だからできる仕事を」と常に意識を高め、上を目指したいと語ってくれました。

Taiki Sakai

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

マナーアップの秘訣!?

千里山キャンパスでは、学生のマナー向上を目的として、毎年5月末にマナーアップキャンペーンを実施しております。いつの時代も悪いところばかり強調されがちな学生のマナーですが、教員という立場からみていると、1、2年次生の頃には何かと不安を感じさせられる学生も、3、4年次生でインターンシップや就職活動を経験すると、人間的にも大きく成長し、それに伴い自然と必要なマナーを身に付けていっているように思います。その変貌ぶりに毎年のように驚かされているところです。マナーを身に付けるにも、やはり経験が重要ということでしょうか。(学生主任 今野正規准教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

新入生合宿を開催

今年も、学部主催行事の新入生合宿が実施されました。入学者の8割を超える学生が参加したこの合宿は、毎年2年次生たちが中心となり企画運営を担ってくれています。今年もグループワークでの真剣な議論を通じて、新入生の間に新しい輪が生まれました。(三枝憲太郎准教授)



文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

日中韩伊 院生フォーラムの開催

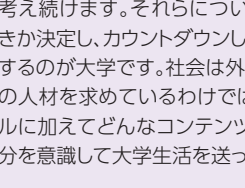


3月13日・14日の2日間、北京外国語大学で「日中韩伊 院生フォーラム」を開催。本学のほか北京外国語大学(中国)、嶺南大学校(韓国)、ローマ大学(イタリア)の70余名の院生が発表。東アジア文化研究科からは22名が参加し研究発表を行いました。(東アジア文化研究科副研究科長 吾妻重二教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

コンテンツを充実させよう

就活でなかなか内定がもらえない人は、「自分には何が足りないのか」、「会社は自分に何を求めているのか」、「自分は何をどのようにすれば社会・会社に貢献できるのか」を苦悩しながら考え続けます。それらについて考え、何をすべきか決定し、カウントダウンしながらその準備をするのが大学です。社会は外国語が話せるだけの人材を求めているわけではありません。スキルに加えてどんなコンテンツを持つか。その部分を意識して大学生活を送ってください。(田尻悟郎教授)



経済学部／経済学研究科

新入生歓迎講演会を開催

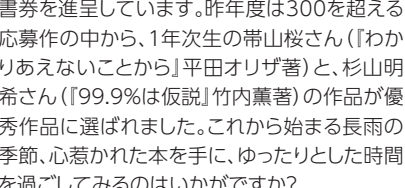
4月2日、新入生歓迎行事として、竹中ナミ客員教授による講演会が開催されました。「チャレンジが社会を変える」と題された講演からは、ICTを駆使してユニバーサル社会の実現を目指す「ナミねえ」の熱い思いが伝わり、新入生は真剣に耳を傾けていました。(副学部長 北原聡教授)



人間健康学部／人間健康研究科

雨読のススメ

人間健康学部では、未来を担う学生たちの自己形成を促す取り組みとして21世紀教養プロジェクトを実施しています。毎年行われるブックレビュー・コンテストでは、優れた作品5作に図書券を進呈しています。昨年度は300を超える応募作の中から、1年次生の帯山桜さん(『わかりあえないことから』平田オリザ著)と、杉山明希さん(『99.9%は仮説』竹内薫著)の作品が優秀作品に選ばれました。これから始まる長雨の季節、心惹かれた本を手し、ゆったりとした時間を過ごしてみるのはいかがでしょうか?(森田亜矢子助教)



各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

継ぐべきか継がざるべきか、それが問題だ

商学部では、「ビジネス研究(次世代の後継者のための経営学)」を昨年に続き本年度も開講。本講義の主な対象は、実家が事業を営んでいる学生で、家業に正面から向き合ってもらうことを目的にしています。家業を継ぐという決定を自ら行った現役の経営者が講師陣です。(荒木孝治教授)



総合情報学部／総合情報学研究科

高槻キャンパス父母見学会を開催しました



5月16日に、高槻キャンパス父母見学会が実施されました。この見学会は、翌日の教育後援会総会に先立って行われ、100人以上のご父母にご参加いただきました。当日は天候にも恵まれ、参加者はPC教室など総合情報学部独自の設備、高槻キャンパスの豊かな環境を見学しました。(高槻キャンパス事務室)

社会学部／社会学研究科

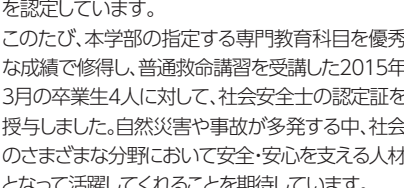
最高の環境で勉強していることを意識しよう

雑誌「The Economist」3月28日号は、「The whole world is going to university」という見出しで、大学を特集している。かつて過剰教育投資が分析されたが、今再び、グローバルの視点で大学教育が注目されている。記事によると、1995年から2012年まで、グローバルに、大学在籍者数は、一人当たりGDPや新車登録数の増加の1.5倍以上の速度で増えている。また、OECD加盟国を対象とした、大卒25～34歳の数量的思考能力の平均スコアはオランダに次いで2位である。U.S.はOECD平均を下回っている。日本の大学教育を担う関西大学の教育の質はグローバルに誇れるものである。(学部長 舟場拓司教授)

社会安全学部／社会安全研究科

「社会安全士」誕生

社会安全学部では、安全に関する問題を読み解き、各分野の専門家とコミュニケーションを取りながら、問題解決に向けた方策を立案・実践できる能力を身に付けた者に対して、『社会安全士』の資格を認定しています。このたび、本学部の指定する専門教育科目を優秀な成績で修得し、普通救命講習を受講した2015年3月の卒業生4人に対して、社会安全士の認定証を授与しました。自然災害や事故が多発する中、社会のさまざまな分野において安全・安心を支える人材となって活躍してくれることを期待しています。(山川栄樹教授)



専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

次年度向け入試要項を配布中です。

次年度(2016年度)の入学希望者を対象に、入試要項の配布を始めました。直近の7月募集(6月22日(月)出願締め切り、7月5日(日)試験)に向けての進学説明会は、6月6日(土)に千里山キャンパスで、6月13日(土)に東京センター(要予約)で開催します。また、6月8日(月)には授業見学会を行います。入試要項の請求および進学説明会の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。(http://www.kansai-u.ac.jp/as/) (入試主任 大西靖准教授)



併設校トピックス

関西大学北陽中学校

新入生宿泊オリエンテーションを実施

関西大学北陽中学校新1年生が、4月9日から11日まで、滋賀県湖北の奥琵琶湖マキノパークホテル&セミナーハウスにおいて、宿泊オリエンテーションを実施しました。初日のクラス活動では、自己紹介やクラス目標を立てることから始まり、全体活動では、集団行動を実施しました。2日目以降は、野外炊飯、クラフトなどの体験プログラムや、クラス対抗ドッジボール、歌合戦を通じて、クラスの団結を図りました。基本的な生活習慣を身に付けることや仲間づくりを目的とした宿泊オリエンテーションで、生徒たちは本格的な中学校生活のスタートを切りました。(教頭 川崎安章)



(集団行動)



(野外炊飯)

Attention 大学からの重要なお知らせ

SPI試験対策講座

本学の3年次生・M1生の皆さんを対象とした「SPI試験対策講座」の受講申込受付が7月8日(水)に始まります! 6月に学内で実施される無料の就職模擬(SPI)試験を受験※し、その試験結果が7段階中4段階以下の方には、夏休み期間に実施される「基礎コース」の受講をお勧めします。皆さんもご承知の通り、近年多くの企業で活用されているSPI試験で、そのスコアが芳しくなく苦戦している学生が数多く見られます。早期の対策が勝負の分かれ目となることは言うまでもありません。

【基礎コース】(開講キャンパス 千里山) 【募集人員】200人 【受講料・教材費】5,000円 【日程・内容】別表の通り

【日程・内容】		内容	
回	日程	13:00~14:10	14:20~15:30
1*	9/7(月)	非言語能力① 割合の計算、食塩水の濃度	非言語能力② 二重の割合、損益計算、分割払い
2	9/8(火)	非言語能力③ 料金割引、清算問題	非言語能力④ 仕事算、水槽問題
3	9/9(水)	非言語能力⑤ 表の読み取り問題	非言語能力⑥ 速さの計算、流水算と旅人算
4	9/10(木)	言語能力① 二語の関係、語句の意味・用法	言語能力② 熟語の構成、文の並べ替え、長文読解
5	9/11(金)	非言語能力⑦ 集合、場合の数	非言語能力⑧ 順列と組み合わせ
6	9/14(月)	非言語能力⑨ 確率の基礎、確率の計算	非言語能力⑩ 推論(1)
7	9/15(火)	非言語能力⑪ 推論(2)	非言語能力⑫ 資料解釈
8	9/16(水)	非言語分野⑬ 資料解釈	非言語分野⑭ その他(玉手箱・CAB・GABIほか)
9*	10月中旬	就職模擬試験	

※ 日程・内容等は変更になる場合があります。
★1 初回は授業開始30分前よりオリエンテーションと教材配付を行います。 ★2 就職模擬試験の日程については講座内でご案内します。

※詳細は講座案内2015を参照してください。

【受講申込受付】		
キャンパス	受付場所	取扱時間
千里山	エクステンション・リードセンター事務室	10時30分~21時 (日・祝日および本学休業日を除く)
高槻ミューズ	エクステンション・リードセンター高槻ミューズキャンパス分室	10時~17時 (土・日・祝日および本学休業日を除く)
高槻 (総合情報学部生・大学院総合情報学研究科生に限り)	キャリアセンター高槻キャンパス分室	10時~16時 (土・日・祝日および本学休業日を除く) ※12時30分~13時30分は除く
堺 (人間健康学部生・大学院人間健康研究科生に限り)	キャリアセンター堺キャンパス分室	10時~16時 (土・日・祝日および本学休業日を除く) ※12時30分~13時30分は除く

エクステンション・リードセンター(ERC)

関大トピックス

化学生命工学部の河原秀久教授が 文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞

化学生命工学部の河原秀久教授が平成27年度科学技術分野の文部科学大臣表彰【科学技術賞（開発部門）】を受賞しました。文部科学省では、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする科学技術分野の文部科学大臣表彰を定めており、科学技術賞は、文部科学大臣が顕著な功績を挙げた者に対し表彰をするものです。今般の科学技術賞受賞者191人のうち、私立大学関係者は11人でした。

河原教授は、有限会社ビック・ワールド、および株式会社カネカと共同研究した、「革新的冷凍食品品質保持剤不凍タンパク質含有エキスの開発」が業績として評価され、今回の受賞となりました。河原教授は、世界で初めて、カイワレ大根から抽出した遺伝子組み換え技術を使用しない不凍タンパク質の実用化に成功しました。4月15日に授賞式が文部科学省で行われました。

本成果は、食品分野のみならず、医療、機械、環境分野など、さまざまな分野での実用化が期待されています。



河原堂「IneチャージS」として商品化されました。



科学技術賞（開発部門）を受賞した河原教授

中央体育館に大島鎌吉資料展示コーナーを開設

4月1日、2日に行われた入学式に合わせて、中央体育館の玄関付近に、1932年ロサンゼルス五輪で銅メダルを獲得した大島鎌吉さんの資料と解説パネルを展示するコーナーが完成しました。

大島さんは、ロサンゼルス五輪とベルリン五輪（1936年）の陸上三段跳び競技に出場し、ロス五輪銅メダル、ベルリン五輪6位入賞の成績を残しました。選手活動を終えた後は毎日新聞社の記者としてベルリン特派員を務め、ヒトラーとの単独記者会見やベルリン陥落など、歴史的な場面にも遭遇しています。

戦後、東京五輪の選手強化対策本部長となり、1964年の東京五輪開会式では日本選手団団長として選手たちの最前列で行進。1982年には青少年教育や国際交流を推進した功績により、アジアで初めて「オリンピック平和賞」が贈られました。1985年3月30日に逝去しましたが、生前の功績を称え、関西大学体育OB会が「大島鎌吉スポーツ文化賞」（現「関西大学体育振興 大島賞」）を制定しました。

展示コーナーでは、大島さんの幅広い活動を示す品々とともに、大島さんの生涯をまとめた「大島鎌吉ものがたり」のパネルが展示されています。



堺キャンパス祭を開催します

6月7日（日）、堺キャンパスにて、堺キャンパス祭を開催します。今年のテーマは「堺キャンパスや さ か い」。

ステージ企画や模擬店、フリーマーケットのほか、準登録団体による子ども向けのスポーツイベントや体験学習エリア、プロジェクトアドベンチャーを使ってのイベントなど楽しい企画が盛りだくさん。他キャンパスの皆さんも、活気ある堺キャンパス祭へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



昨年度の様子

高槻ミュージズキャンパス祭を開催します

6月21日（日）、高槻ミュージズキャンパスにて、高槻ミュージズキャンパス祭を開催します。今年のテーマは「楽しく防災を学んで伝えよう」。

社会安全学部祭典実行委員会が企画・運営を行う学生主体の催しで、「若い力で安全の輪を広げる」をコンセプトに、自衛隊や献血車を招いてイベントを実施。さらに、防災に関する参加型イベントや、昨年人気だったゲーム感覚で防災訓練システムが身に付く「カエルキャラバン」を開催するなど、社会安全学部ならではの企画が目白押しです。



昨年度の様子

もやまばなし 関大人 四方山話 ◆「関西大学発祥の武道」

学部・大学院事務グループ長 <法文オフィス> 竹中弘幸



この4月から、体育会拳法部の監督をすることになった。日本拳法は、関西大学で発祥した武道であり、防具を装着し、突き、蹴り、組み技（投げ技、関節技）でポイントを競う総合格闘技である。最近では自衛隊の徒手格闘術として取り入れられており、非常に実践的な格闘技である。私と日本拳法との出会いは、関西大学第一高等学校に入学して以来なので、かれこれ30年以上もの間、未だに防具を付けて学生と殴り合いを続けていることになる。学生時代から数々の成績を残してきた自負もあり、今の学生たちにもあの喜びと感動を味わってもらいたいと、未だに老骨に鞭打って練習しているのかもしれない。特に最近、体力的にも限界を感じる時がよくあるが、強さを求めるが故に絶対に受け入れようとしないうちが自分があるのも事実である。もし今後、学生たちが私に練習で手加減をするようなことがあれば、いよいよ私も練習を引退するときであろう。その時が来るまで戦い続けたいと思っている。未だに強さを求めるこんな事務職員が一人ぐらいいいもいではないだろうか。

「特集」では、世界をフィールドに活躍する卒業生の中から4人の先輩方にお話を伺いました。「関西大学から世界へ」を体現している彼らに倣い、皆さんも大きく飛び出して行ってください。「関大誌上教室」では、総合関関戦を前に「ライバル」を考えてみました。友人であり、目標でもある好敵手。関西学院大学の上ヶ原キャンパスで、総合関関戦を観戦しながらライバル交流はいかがですか。

（広報課課長 中川雄弘）

編集後記

今月の表紙：出世風沙さん（法2）、柳田萌黄さん（文2）、林田智聖さん（商2）、楊梅さん（法2）

児童文化研究サークル「こどもの国 あかとんぼ」の皆さん：川邊春花さん（文2）、宮本大暉さん（法2）、藤原悠希さん（文3）、江木哉真人さん（シス理2）、小保方浩平さん（卒業生）、岡田千里さん（経3）



関西大学通信「KANDAI STYLE」

発行日：2015年6月1日（年9回発行）

発行：関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話：06-6368-1121（大代表）